

無料で学べる 「部活動指導員」養成オンライン講座



ブカツゼミは文部科学省委託事業として学校法人三幸学園東京リゾート＆スポーツ専門学校が実施した「リカレント教育総合推進プロジェクト部活動指導員養成事業」によって作成されたeラーニング学習プログラムです
個人での学びから関係団体による養成事業（部活動指導員養成講座・任用者研修等）として広く活用いただくことが可能です

【専修学校#知る専（文部科学省）紹介動画】 <https://www.youtube.com/watch?v=vGrIrKD1ipk>

※「部活動指導員」：“教員の働き方改革”“部活動の質的向上”を目指し、2017年より学校教育法施行規則の一部改訂により制度化された学校職員です。校外での引率対応や適切な理解に基づく指導によって適切な練習法・練習計画の導入や想定される事故・けがの未然防止などの期待がされています。



ブカツゼミの特徴

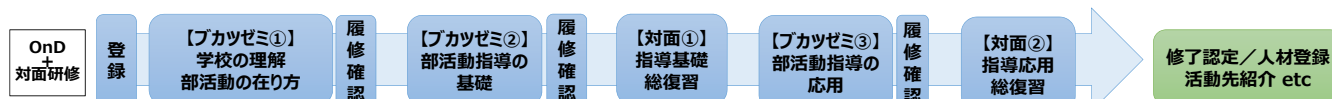
- ❑ 部活動指導員として必要なマナーや知識を誰でも無料で学べるオンライン講座
- ❑ 「教育」「安全管理」「指導法」「マネジメント」の4領域からなる充実した講座内容（※別紙参照）
- ❑ 指導者研修会などに向けた団体受講登録も可能
- ❑ 修了証の発行などもご相談受け付けます

登録・利用方法

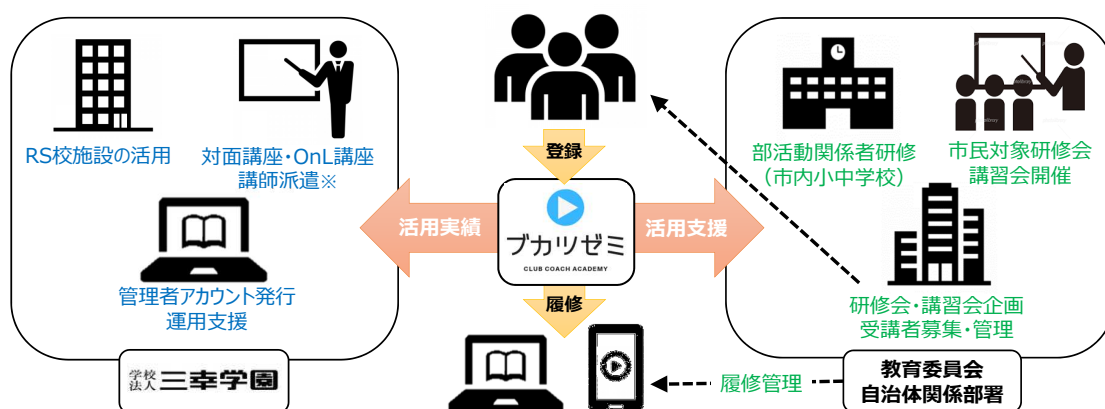


※登録ページ <https://www.learningware.jp/bukatsu/lesson/contents/html/>

活用イメージ



※部活動に関わるリカレントプログラムとしてブカツゼミを活用／身体や指導実践等に関して習熟度を担保するために対面研修・講習を併用して活用



※本プログラム開発に関わった教育機関・団体関係者等（東京未来大学教授・リゾート＆スポーツ専門学校関係者）

養成事業での運用ポイント



管理者設定における
履修内容の選定・履修確認
（管理者アカウント機能）

- 登録受講者の履修状況確認が可能
- 受講割り当て科目の選定など自治体のニーズに即したカリキュラム調節が可能



eラーニング学習カリキュラム
の受講証明（修了証発行）

- 発行元（管理者）で発行可能
例：〇〇市教育委員会公認部活動指導員
〇〇県〇〇協会公認部活動指導員



対面研修・講習との
組み合わせで実施による
学習の補強

- 現役トレーナー・専門家による実地研修
例）部活動に使えるテーピングの基本
障害予防とウォーミングアップ など

部活動指導員養成e-ラーニングプログラム【ブカツゼミ】教材リスト														
分野	No.	分野タイトル	章	章タイトル	分野	No.	分野タイトル	章	章タイトル	分野	No.	分野タイトル	章	章タイトル
マネジメント	1	1. 学校の組織的理解	1-1	学校運営における組織体制	教育	46	12. 部活動指導とハラスメント	12-1	スポーツにおけるハラスメントの捉え方とその具体例	安全管理	91	18. 一次救命処置（BLS）	18-6	熱中症対応
マネジメント	2		1-2	組織における校務とその概要	教育	47		12-2	部活動指導にみられるハラスメントの実態	安全管理	92	19. けがに対する手当	19-1	きず（開放性と非開放性のきず）
教育	3	2. スポーツの文化的理解	2-1	近代スポーツの誕生と発展（スポーツの文明化）	教育	48		12-3	部活動指導でのハラスメント発生要因	安全管理	93		19-2	止血
教育	4		2-2	文化としてのスポーツの価値	教育	49		12-4	ハラスメントに関連する一般的な法律	安全管理	94		19-3	骨折
教育	5		2-3	人間とスポーツのかかわり（豊かなスポーツ生活）	教育	50		12-5	部活動でのハラスメントが生徒に与える影響	安全管理	95		19-4	頭頸部のけが
教育	6	3. 部活動の位置づけ	3-1	学校の場に関連する法規	教育	51		12-6	部活動指導においてハラスメントを発生させないために	安全管理	96		19-5	RICE処置
教育	7		3-2	教育制度と部活動	指導法	52	13. 部活動指導とコーチングテクニック	13-1	コーチングの心構え	指導法	97	20. 部活動におけるトレーニングプログラミング	20-1	年間トレーニング計画の策定
教育	8		3-3	課外活動（部活動）の位置づけ	指導法	53		13-2	技術指導における効果的指導法	指導法	98		20-2	形態・体力測定
教育	9		3-4	部活動の教育的意義（or生涯学習を培う部活動の在り方）	指導法	54		13-3	コーチに必要なコミュニケーション能力Ⅰ	指導法	99		20-3	ウォーミングアップとクールダウン
教育	10		3-5	部活動の社会的意義	指導法	55		13-4	コーチに必要なコミュニケーション能力Ⅱ	指導法	100		20-4	コアトレーニング
教育	11		3-6	部活動を取り巻く社会的変遷	指導法	56		13-5	医・科学現場の知見の反映	指導法	101		20-5	筋力トレーニング
教育	12		3-7	部活動の現状	指導法	57		13-6	中学期以降におけるコーチングⅠ	指導法	102		20-6	持久系トレーニング
教育	13		3-8	部活動の課題①	指導法	58		13-7	中学期以降におけるコーチングⅡ	指導法	103		20-7	スピード・アジリティトレーニング
教育	14		3-9	部活動の課題②	指導法	59		13-8	指導者のあるべき姿	指導法	104		20-8	爆発的パワートレーニング
教育	15	4. 部活動指導員の職責の自覚	4-1	部活動指導員の役割	教育	60	14. 部活動指導とメンタルマネジメント	14-1	モチベーションとは	教育	105	21. チームビルディング	21-1	部活動という集団
教育	16		4-2	部活動指導員の倫理	教育	61		14-2	モチベーションを高める方法①原因帰属理論	教育	106		21-2	目標の設定
教育	17		4-3	指導者としてのマナーと人格	教育	62		14-3	モチベーションを高める方法②目標設定理論	教育	107		21-3	リーダーシップ
教育	18		4-4	部活動指導員が起こしうる問題①「ハラスメント」	教育	63		14-4	モチベーションを高める方法③ほめ方・しかり方	教育	108		21-4	自主性のあるチームとは
教育	19		4-5	部活動指導員が起こしうる問題②「ひいき」	教育	64		14-5	メンタルマネジメントと競技不安	教育	109	22. 配慮が必要な子への対応	22-1	コミュニケーションが苦手な子
教育	20		4-6	部活動指導員が起こしうる問題③「発達段階の理解不足」	教育	65		14-6	競技不安を低める方法①メンタルトレーニング	教育	110		22-2	コミュニケーションが苦手な子への対応
教育	21	5. プレイヤー（児童・生徒）の理解	5-1	児童・生徒の身体的発達	教育	66	15. トレーニング基礎	14-7	競技不安を低める方法②森田療法の活用	教育	111		22-3	指示の理解が難しい子
教育	22		5-2	児童・生徒の精神的発達（児童期の発達）	教育	67		14-8	競技不安を低める方法③自律訓練法と筋弛緩法の活用	教育	112		22-4	指示の理解が難しい子への対応
教育	23		5-3	児童・生徒の精神的発達（思春期の発達）	指導法	68		15-1	体力とは①概念	教育	113	22-5	不器用な子	
教育	24		5-4	学校生活の理解（教師との関係）	指導法	69		15-2	体力とは②狭義の行動体力の種類と特性	教育	114	22-6	不器用な子への対応	
教育	25		5-5	学校生活の理解（仲間との関係）	指導法	70		15-3	体力とは③体力に含まれるスキルとは	教育	115	23. 指導者自身の環境を整える	23-1	自己理解の重要性
教育	26		5-6	家庭生活の理解	指導法	71		15-4	トレーニングの原理・原則	教育	116		23-2	スポーツ観とは
マネジメント	27	6. 部活動の運営Ⅰ(管理)	6-1	活動計画の作成	指導法	72		15-5	トレーニング処方の考え方①	教育	117		23-3	ストレスマネジメント
マネジメント	28		6-2	教諭等との連携	指導法	73		15-6	トレーニング処方の考え方②	教育	118		23-4	ワークライフバランス
マネジメント	29		6-3	関係団体との連携	指導法	74	15-7	トレーニングと疲労およびその回復	マネジメント	119	24. 「ホワイト部活動」の創り方	24-1	生徒の「自治」と多様なニーズを基調とする部活動マネジメントの基本	
マネジメント	30		6-4	事務手続き	指導法	75	16-1	機能解剖①上半身	マネジメント	120		24-2	生徒の自主的・自発的な参加・協働に基づく部活動マネジメントの推進	
マネジメント	31	7. 部活動の運営Ⅱ(指導)	7-1	生徒の活動観察と実技指導	指導法	76	16-2	機能解剖②脊柱・体幹	マネジメント	121		24-3	生徒の自主性・自発性を育む部活動「支援」とは	
マネジメント	32		7-2	目標を固定しない柔軟な指導	指導法	77	16-3	機能解剖③下半身	マネジメント	122	25. 部活動改革の取り組み事例	25-1	顧問（部活動指導員）に求められる「コンピテンシー」とは	
安全管理	33	8. 部活動の運営Ⅲ（安全管理と法的責任）	8-1	教育現場における安全管理の法的責任	指導法	78	16-4	発育発達期の身体的特徴	マネジメント	123		25-2	中学校部活動を支える総合型地域スポーツクラブー長野市立東北中学校ー	
安全管理	34		8-2	教育現場における安全管理の義務	指導法	79	16-5	発育発達に応じた運動指導	マネジメント	124		25-3	スポーツ少年団と一体化した中学校部活動	
安全管理	35		8-3	部活動における負傷・疾病の実態	指導法	80	16-6	発育発達期に多い怪我	マネジメント	125		25-4	学社融合で豊かなスポーツライフを実現する高校部活動ー大阪教育大学附属高等学校平野校舎ー	
安全管理	36	9. 部活動の運営Ⅳ（安全管理体制の構築）	9-1	学校における体制整備（緊急事態発生時の体制）	指導法	81	16. ジュニア期における身体構造の基礎知識	16-7	女性競技者の身体的特徴①	教育 52コンテンツ 安全管理 22コンテンツ 指導法 36コンテンツ マネジメント 15コンテンツ 合計125コンテンツ 				
安全管理	37		9-2	施設・設備・用具の安全点検と安全管理	指導法	82		16-8	女性競技者の身体的特徴②					
安全管理	38		9-3	生徒の健康管理	安全管理	83	17. 救命・救急処置（応急手当）	17-1	救助者の自覚					
安全管理	39	10. 部活動の運営Ⅴ（事後対応と再発防止）	10-1	情報の整理	安全管理	84		17-2	手当の基本					
安全管理	40		10-2	報告・再発防止等	安全管理	85		17-3	現場での留意点					
指導法	41	11. 部活動指導とコーチング原理	11-1	スポーツのコーチングと人間形成	安全管理	86	18. 一次救命処置（BLS）	18-1	救急救命の流れ					
指導法	42		11-2	スポーツにおけるコーチング	安全管理	87		18-2	心肺蘇生法の重要性					
指導法	43		11-3	コーチングに必要な知識・技能	安全管理	88		18-3	気道確保と回復体位					
指導法	44		11-4	スポーツ指導の基本原則	安全管理	89		18-4	AEDを用いた除細動と心肺蘇生法					
指導法	45		11-5	スポーツにおける暴力根絶に向けて	安全管理	90		18-5	気道異物除去					

2020年度専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト『部活動指導員養成事業』構成員（委員）一覧

氏名	所属（学校・企業・団体名）	職名	都道府県名	実施 委員会	分科会① （開発）	分科会② （普及）
昼間 一彦	学校法人三幸学園	理事長	東京都	○		
森岡 孝之	学校法人三幸学園	理事	東京都	○		
藤後 悦子	東京未来大学	教授	東京都	○	○	
中西 純司	立命館大学	教授	京都府	○	○	
平岡 拓晃	筑波大学	助教	茨城県	○	○	
鈴木 岳.	株式会社 R-body project	代表取締役	東京都	○		
新田 広一郎	大塚製薬株式会社	執行役員	東京都	○		
石塚 大輔	スポーツデータバンク株式会社	取締役	東京都	○		○
井原 敦	一般社団法人 日本野球機構	事務局長	東京都	○		○
岩渕 健輔	公益社団法人 日本ラグビーフットボール協会	専務理事	東京都	○		○
松村 剛	一般社団法人 日本フィットネス産業協会	会員事業統括マネージャー	東京都	○		○
大橋 一夫	名古屋市教育委員会 スポーツ振興課	指導主事	愛知県	○		
大橋 恵	東京未来大学	教授	東京都		○	
井梅 由美子	東京未来大学	准教授	東京都		○	
荒井 秀幸	株式会社 R-body project	テクニカルディレクター	東京都		○	
西川 壘	株式会社ナズー	アスレティックトレーナー	埼玉県		○	
嶋 理恵子	一般社団法人 日本野球機構	課長	東京都			○
小崎 順平	大塚製薬株式会社	ニュートラシューティカルズ事業部	東京都			○
早坂 達	札幌スポーツアンドメディカル専門学校	副校長	北海道			○
寺澤 正典	仙台リゾートアンドスポーツ専門学校	副校長	宮城県			○
斎藤 政臣	横浜リゾートアンドスポーツ専門学校	副校長	神奈川県			○
渡邊 慧	大阪リゾートアンドスポーツ専門学校	副校長	大阪府			○
小久保 和紀	名古屋リゾートアンドスポーツ専門学校	副校長	愛知県			○
會田 隆太	福岡リゾートアンドスポーツ専門学校	副校長	福岡県			○
高岡 昌弘	学校法人三幸学園	統括部門長	東京都	（統括）	（統括）	（統括）
兼子 大次郎	学校法人三幸学園	主任	東京都	（統括）	（統括）	（統括）

広島市に於ける中学校の部活動の一部の指導をフィットネスクラブが受託。



府中緑ヶ丘中の体育館で筋力トレーニングの指導をするインストラクターの2人（手前）

https://www.chugoku-np.co.jp/animation/article/article.php?comment_id=11574&comment_sub_id=0&category_id=41